

3月3日は「耳の日」ですが……

「耳の日（みみのひ）」とは、1956（昭和 31）年に社団法人日本耳鼻咽喉科学会が制定した記念日です。今年でなんと 60 回目です。

聴覚障害のある人々に対する社会的な関心を盛り上げることや、一般の人々が耳に関心を持つことを願って制定されました。「3」の字が耳の形に似ていること、「み(3)み(3)」の語呂合わせから、この日に決まったとのことです。

3月3日は、サリヴァン女史がヘレン・ケラーに指導を始めた日です。また、電話の発明者グラハム・ベルの誕生日でもあります（音の大きさを表す単位の「dB（デシベル）」のベルは、グラハム・ベルの名前に由来しています）。

この日を制定した日本耳鼻咽喉科学会では、今年も全国各地で様々なイベントを行います。愛媛県では、医師だけでなく看護師や言語聴覚士などのコミディカルも含めた、聴覚に関する学術集会在開催されるようです。

愛媛ヒアリング研究会

日時 平成 27 年 3 月 15 日（日）13 時～ 16 時
場所 愛媛大学城北キャンパス
愛媛大学南加記念ホール
（愛媛県松山市文京町 3）

（日本耳鼻咽喉学会 HP より）



ちなみに、6月6日は「補聴器の日」です。こちらも「6」を二つ向かい合わせにすると耳の形に見えることや、耳に補聴器を装着することは、聞こえの弱った耳に聞こえを補うもう一つの耳（補聴器）を着けることから「3月3日×2＝6月6日」という意味もある、と説明する人もいます。

では、「人工内耳の日」はいつでしょうか。正解は9月9日です。細かい理由はよく分かりませんが、人工内耳友の会「ACITA」によると「3/3→耳の日 6/6→補聴器の日……いうことで」だそうです。

ではでは、「手話の日」なんていうのはあるのでしょうか。実はあります。5月5日です。理由は手話が左右の五本指を使うことから、なんだそうです。

御案内 ～「耳の日」のつどい

耳の日には、全国各地で様々なイベントが行われます。
松山市では、「耳の日」のつどいが行われます。

日時 3月1日(日) 10時～15時
場所 松山市総合福祉センター(松山市若草町8-2)
内容 【大会議室】

- ◆ 手話に関する講演会 10時30分～12時
「魅力あることば 手話」
講師: 岡本かおり氏(目で聴くテレビ手話キャスター)
定員: 200名 ※要申込(受講料: 500円)
- ◆ 耳に関する講演会 13時～14時30分
「難聴や耳の病気を知ろう!」
講師: 本多伸光氏(愛媛県中央病院耳鼻咽喉科主任部長)
定員: 200名 ※要申込(受講料: 無料)

【ロビー・仮設ステージ】

- オープニング・セレモニー 10時～10時30分
- 手話パフォーマンスなど 12時～13時
(手話コーラス・手話落語・サインダンス等)
- 手話で歌おう (練習) 13時～14時
(発表) 14時30分～15時
「アナと雪の女王」 LET IT GO ～ありのままに～
定員: 20名 ※要申込
※ 手話の練習後(1時間)ステージ発表をします。
指導は、手話の講演会講師の岡本かおり氏です。
- 相談コーナー 11時～14時30分
(補聴器・携帯電話・介護・医療(薬)・教育)
※ 本校の河村先生が、教育に関する相談を担当します(午後)
- 体験コーナー 10時30分～14時30分
(手話&要約筆記ミニ講座・ミニホワイトボード作り、
盲聾体験コーナー など)
- バザー 10時30分～14時30分
- 展示
※ 美術部の作品展示に際し、本校の河部先生が協力しています。

この記事は、松山市社会福祉協議会より本校に御案内いただいた資料を基に作成しています。
時間や内容については、変更があるかもしれません。詳細については、直接、松山市社会福祉協議会にお尋ねください。

問合せ先 松山市社会福祉協議会(手話生活相談室)

Tel: 089-921-2143 / Fax: 089-921-2142

イベントの案内（県内）・・・手話学習会 火曜会より 「ふれあいコンサート」の御案内

日 時 : 平成27年2月22日（日） 13時30分～15時30分
場 所 : 松山市総合福祉センター 大会議室
 (松山市若草町8-2)
内 容 : 小学校児童による発表
 火曜会の発表
 ゲームなどによる交流

イベントの案内（県外）・・・日本ASL協会より 「遠隔指導講義」及び「eラーニング」の御案内

※ ASL: アメリカン・サイン・ランゲージ (アメリカ手話) です。

アメリカ手話による講義を、アメリカ・ギャロデッド大学から生中継で受けることができる企画です。

【遠隔指導講義】

日 時 : 2015年2月14日（土）午前9時30分～12時30分
場 所 : [東京会場] 日本ASL協会事務所（千代田区飯田橋）
 [京都会場] 全国手話研修センター（京都市右京区）
内 容 : 講義1「アメリカにおけるろう教育」
 Dr.Amy E.Hile（ギャロデッド大学教育学部准教授）
 講義2「ギャロデッド大学150年の歴史」
 Mr.Michael J.Olson（ギャロデッド大学歴史資料室責任者）
定 員 : （東京）25名（京都）50名
参加費 : 無料（誰でも参加可・事前申込が必要）
 京都会場のみ、日本手話による通訳が付きます。

【eラーニング】

これまでに、協会が実施した「遠隔指導講義」を家庭のパソコンやタブレット等で見ることができます。現在、2009年度、2010年度の講義が公開されています。講義によって、日本手話、日本語字幕がついているものがあります。協会のHPから視聴登録（登録料無料）が必要です。

日本ASL協会 <http://www.npojass.org/>

新しい「障害者福祉のしおり」が発行されました！

高等部の自立活動では、2年生を中心に、福祉制度について学習します。福祉サービスや支援サービスについて知識を深め、利用できる制度を知ることが、卒業後の社会参加の上で必要なことです。この障害者福祉の概要を学ぶ上で参考になるのが、愛媛県が発行している「障害者福祉のしおり」です。愛媛県のホームページでは、PDFファイルの形でダウンロードできるようになっています。

機会があれば、是非御覧ください。



災害用バンダナとSOSカードについて

東日本大震災から3年が経とうとしています。大きな災害が起こったこの時期、小学部高学年から中学部は、自立活動の時間に防災に関する学習を行っています。災害時は、自分の身の安全を確保することに必死ですし、避難先では、周囲の人の様子や環境が普段と違うわけですから、「情報弱者」になりがちな聴覚障害者にとっては、いつもは周囲が配慮してくれる「情報」がなかなか入って来ないことも起こります。

先日、本校のE先生から紹介していただいた「災害用バンダナ」と「SOSカード」は、この辺りの聴覚障害者への配慮がよく考えられていると感じます（既に2年以上も前に作られていたとは知りませんでした…）。

E先生より、バンダナの実物をお借りしていますので、自立活動の授業で実際に見てもらいながら、今年も授業で「自分の身を守ること」について、子供達と一緒に考えていきたいと思っています。



編集後記

「みみちゃん」第61号をお届けいたします。小学部低学年は「年末年始」や「一年間の行事」に関する言葉、小学部高学年や中学部は「耳の日」や「防災」に関する学習を、自立活動の時間に行う時期になっています。御家庭でも機会を見つけ、この時期ならではの話題で、子供さんと話をされてはいかがでしょうか。